令和８年３月１日現在

世帯数	：	942世帯
人口	：	1621人
男	：	771人
女	：	850人

再起動 リブート 居酒屋ホワイエ

「乾杯！」17時30分、町内公民館長会の伊藤会長の発声とともに、居酒屋ホワイエの開宴です。コロナ禍で中断していた「居酒屋公民館」が昨年7月、5年ぶりに再開しました。11月からは会場もMウイング6階ホワイエでの開催となり、天井の高い開放的な空間で、夜景を楽しみながらの交流会です。この会場変更に伴い名称も「居酒屋ホワイエ」と改まりました。

そもそもこの事業が始まったのは平成30年。公民館活動への男性の参加をさらに促すことを目的に検討を重ねた結果、大手公民館などでの居酒屋風交流事業を参考に町内公民館長会の主催でスタートしました。当初は会場となるMウイング内での飲食の制限が厳しかったため、調理実習室で料理教室として作った成果物を参加者で食べるという体裁から始まり、名称も「居酒屋ひろば」でしたが、回を重ねる中で名称やスタイルも進化、中断を挟んで現在に至りました。

再開前の参加者は最大40名くらいで、お子さん連れのご家族での参加も珍しくなかったそうですが、再開後は男女比半々の平均20名くらいです。お酒や料理の持ち込みの有無で参加費は変わりますが、手ぶらの方もいれば、お好みのお酒持参の方、自慢の手料理をふるまう方など様々です。グラス片手に昔話に花が咲くテーブルもあれば、地域の情報交換や幼馴染の消息に盛り上がったり、久しぶりの再会を喜ぶ姿もあります。また、地域の方に寄贈していただいたレコードプレイヤーも設置していますので、懐かしの歌謡曲・洋楽などのレコード盤をお持ちいただいて、会場内でBGMとして流しています。においや笑い声に釣られたのか、2階の中央公民館の職員の姿も見かけます。

開催頻度は毎月1回で、「広報まつもと」とともに配布される地域だよりで日時や詳細は確認できますので、途中参加・途中帰宅OKの敷居の低いご近所交流に是非ともお誘いあわせの上、一度覗いてみるのはいかがでしょうか。

第一地区公民館事業だより

1月～2月にかけて行われた第一地区公民館事業を一部ご紹介します。

▼冬のボウリング大会

1月17日（土）、アピナボウル城山にて冬のボウリング大会を行いました。夏冬の恒例行事となっており、参加者同士交流を深めながら、体を動かしました。

▼珈琲抽出講座

2月25日（水）、「珈琲美学アベ」様共催で珈琲抽出講座を実施しました。地域の人気純喫茶で行われたこの講座は、地区内外から多くの方々にご参加いただきました。

第一地区公民館の最新講座情報はHPをチェック!

五輪とWBC（国際野球）

熱戦が続いたミラノ・コルティナ冬季五輪が閉会しました。日本のメダル獲得は、金が５個、銀が７個、銅が12個で、合計24個と冬季五輪としては最高数でした。

特に印象に残ったのは、フィギュアスケートペアの三浦璃来・木原龍一の「りくりゅう」ペアの優勝には感動し、うれし涙でした。ショートでは得意のリフトを失敗し、まさかの５位と出遅れましたが、フリーでは会心の演技で世界歴代最高得点を出して大逆転、悲願の優勝を果たしました。ちょっと前まではフィギュアのペアはあまり見ませんでしたが、最近は日本が強くなったこともありよく見るようになり、大変魅力を感じています。よく頑張り金メダル獲得、感激でした。

次に、２０２６年３月６日よりワールドベースボールクラシック（ＷＢＣ）が開催され、20か国が参加して優勝を争います。４プールに分かれ１次ラウンドの試合をし、そこから勝ち上がった国により準々決勝・準決勝・決勝と対戦になり優勝国が決まります。今までに５回開催されていて、

２００６年　優勝日本、最優秀選手松坂投手
２００９年　優勝日本、最優秀選手松坂投手
２０１３年　優勝ドミニカ共和国
２０１７年　優勝アメリカ
２０２３年　優勝日本、最優秀選手大谷二刀流

以上で日本が３回優勝しています。今回の参加国は、

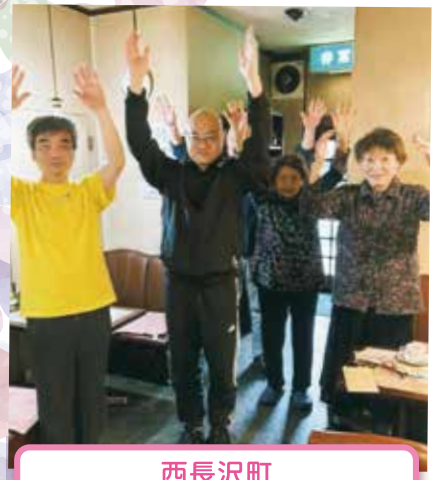
●プールＡ　プエルトリコ・キューバ・カナダ・パナマ・コロンビア
●プールＢ　アメリカ・メキシコ・イタリア・イギリス・ブラジル
●プールＣ　日本・オーストラリア・韓国・チェコ・台湾
●プールＤ　ドミニカ共和国・ベネズエラ・オランダ・イスラエル・ニカラグア

ＷＢＣ２０２６年出場選手監督（井端）ソフトバンク（近藤・周東・槇原・松本）阪神（佐藤・森下・坂本）オリックス（宮城・曽谷・若月）日本ハム（伊藤・北山）西武（源田・平良・隅田）巨人（大勢）ロッテ（種市）中日（高橋・金子）ヤクルト（中村）楽天（藤平）ＤｅＮＡ（牧）広島（小園）メジャー（大谷・山本・鈴木・岡本・菅野・村上・吉田・菊池）

以上、そうそうたるメンバーです。この館報が発行される頃にはすでに結果が出ているかと思いますが、日本が優勝していることを望みます。

第一地区の町内公民館活動
～町内のつながりは心のつながり～

伊勢町３丁目
町内懇親会 ～生坂～



西長沢町
健康体操教室

国府町
駅前通り 花の植え替え

電車通り

２月の衆院選を巡り、ＳＮＳには多くの憶測や強い言葉が広がりました。それは、単に相手を傷つけるだけでなく、建設的な議論を妨げ、感情論の意思決定に繋がるように思われます。

では、そのような憶測は、なぜ生まれるのか。それは、誰かの善悪というより、情報の広がる仕組みの問題でもありそうです。

今やＳＮＳは若い世代だけでなく、幅広い年代が日常的に触れる場であり、私たちの地域も例外ではありません。ＳＮＳのアルゴリズム（基本原則）は、「いいね」や滞在時間を学習し、怒りや不安を強く刺激する投稿ほど拡散しやすい仕組みです。また、利用者の行動履歴から選ばれた、似た意見ばかりが目に入れば、それが社会全体像のように感じられてしまうかもしれません。

だからこそ、流れてきた情報をそのまま受け取るのではなく、出典や元データを確かめる一手間を大切にしたいと思うのです。立ち止まり広い視野で眺める勇気こそ、落ち着いた対話への第一歩となり得るのですから。